

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名 成田市立 西中学校

1 学校教育目標



2 本年度の重点化された具体的な目標

- ◎誰一人取り残すことなく、前進し続ける学校
- 指導の個別化、学習の個性化により、学習内容の確実な定着を目指す
- 心を揺さぶり、熟考を促し、生徒が自己決定する機会を大事にする
- 生徒理解に努め、困り感に早期に気づき、適切な計画、支援方法の工夫により、全職員が協力体制で支援する
- 多様な価値観を理解する力と思いやり、感謝の気持ちを大切にし、社会貢献できる人間性を育てる

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育課程	学校教育目標や経営方針などに生徒、保護者は共感できている。	生徒は98%が肯定的、保護者はR6が90%R7が94%が肯定的	A	学校教育目標のさらなる浸透を目指す。職員の意識の向上、保護者、生徒への情報発信を行う。
	学校は心豊かで自主性のある生徒の育成に努力しているか。	保護者はR6が85%R7が88%が肯定的	A	
生徒指導	学校は、先生と子どもの対話(相談)に心掛けていますか。	保護者はR6が80%、R7が83%が肯定的	B	ICT機器も活用しながら「誰一人取り残さない」を実現していく。
	学校はいじめや暴力のない学校づくりにとりにくんでいますか。	保護者はR6が74%、R7が77%が肯定的	B	
学習指導	学校は子どもに基礎学力身につけさせる努力をしている。	保護者はR6が74%R7が80%が肯定的	B	ICT機器、生成AIも活用し、習熟度別授業も展開していく。
	授業の中で、iPadの活用と使いこなしはどうであったか。	生徒は、R6が82%、R7が85%肯定的	A	
研修・研究	今年度も行った「個別最適化」授業と評価の一体化」の研修を行ったため、効果の判定として評価項目として「学習における子どもの能力や努力が適切に評価されているか。」を分析	保護者はR6で81%、R7が83%が肯定的	B	引き続きテストの出題の仕方を工夫し、より一層の情報発信を行う。
家庭との連携	学校はお子さんのことで相談に適切に応じてくれていますか。	保護者は、R6が83%、R7が84%が肯定的	B	授業参観や学校公開を積極的に行い、開かれた学校を目指す。
	学校は家庭や地域との連携に努力していますか。	保護者は、R6が89%、R7が88%が肯定的	A	
特別支援教育	学校は、先生と子どもの対話(相談)に心掛けていますか。子ども一人一人に必要な教育支援を行っているか。	保護者はR6が79%、R7が78%が肯定的	B	通級、校内教育支援センター、ICT機器、対面での相談など、あらゆるツールを活用する。

4 自己評価の結果の分析

一昨年度から同様の学校教育目標と学校経営方針を掲げ、生徒、保護者、教職員には、かなり浸透してきており、学校全体として一つの目標に向けて努力することができた。今年度も「誰一人取り残すことなく前進し続ける学校」を強調し、そのための手段として強みであるICT機器の活用をし、生徒の不安を可視化して、寄り添いながら生徒指導の対応をすることを心がけた。さらに、通級教室と校内教育支援センターの機能を強化することで、より一層のセーフティネットの整備をすることができた。また、保護者からの教育評価アンケートでは「わからない」を選ぶ保護者が一定数いるため、より一層、開かれた学校を目指し、情報発信に努めていきたい。